

NICE ロボティックオートメーションが革新的コネクティビティと AI の機能強化を最新バージョンのリリースで搭載

最新の NICE ロボティックオートメーションは堅牢かつ、ユニバーサル、インテリジェントなコネクティビティにより、運用の安定性を向上させ投資回収を短期化します

2018 年 6 月 11 日（ニュージャージー州ホボケン）

NICE は幅広い業務部門と営業部門の利点を強化する為の新機能を搭載した、自社のオートメーションソリューションの最新版 **NICE Robotic Automation 6.7** を本日発表しました。今回のバージョンは、インテリジェントなコネクティビティにおける技術革新が含まれており、プロセスのオートメーションを設計および展開する際の時間を短縮し、より多くの業務の継続性を向上させています。

NICE はコグニティブ技術によってもたされた包括的なプラットフォームで、ロボティック・プロセス・オートメーション（RPA）業界の先導を切る存在です。業界で唯一、アンアテンデットと従業員によってアシストされた（アテンデット）オートメーションを提供しています。NICE は、プロセスオートメーション展開の成功に不可欠な強力なコネクティビティを備えており、**Robotic Automation 6.7** にユニバーサル接続レイヤーを導入し、単一のプラットフォームから複数のプロセスオートメーションを展開するだけでなく、様々なアプリケーションとの連携をサポートします。

コネクティビティの強化

革新的な新しいリリースは、業界トップのオブジェクトベースによるコネクティビティと、シェイプアナリシス・テクノロジーと言う先進的な AI 技術によるアルゴリズムであるサーフェスベース・インテリジェンスの新しいレイヤーを組み合わせています。この組み合わせにより、ユニバーサルなコネクティビティのブレイクスルーが生まれ、どんなアプリケーションや仮想 Citrix 環境との連携により、全ての RPA 導入においても堅牢なサポートを保証します。

拡張したフレームワーク機能及びセキュリティのアップグレード

最新のコネクティビティの革新に加え、**NICE Robotic Automation 6.7** はオートメーション部門がコグニティブ技術と AI フレームワークを拡張するための基盤を形成します。**Robotic Automation 6.7** では、チャットボットからのリアルタイム要件を実行する NICE ロボットの搭載機能の拡大にも反映されています。同様に、インテリジェント・スケジューリング・エンジンにより、高度な監視機能とコントロール機能の一環として、仮想人員の時間をより適切に管理できるようになりました。最新の **Robotic Automation** リリースのセキュリティも強化され、単一パスワードコントロール機能とユーザー特有の権限設定により、最も厳しいエンタープライズレベルの基準を満たしています。NICE ロボティック・オートメーションのコントロールルームのユーザーインターフェイスを刷新することにより、現在の全てのアップグレードと標準操作を使いやすくし、視覚的にも非常に観やすくなりました。

ミキ・ミダルNICEエンタープライズプロダクトグループ代表：

現代のRPA業界のテクニカルチームは様々な実装及び展開に関する困難に直面しています。その中でも堅牢かつ安定したコネクティビティを保証することが最も困難といえます。NICEは15年のエンタープライズレベルの経験により、これまでにないシェイプアナリシスのイノベーションとユニバーサルなコネクティビティを実現する包括的なNICE Robotic Automation 6.7プラットフォームで、これらの問題に取り組んでいます。このブレークスルーにより、安定した堅牢なプロセスオートメーションの展開が永遠に可能となります。

アマンディーブ・モディ EverestGroup プラクティスディレクター：

EverestGroup の直近の RPA 製品 PEAK Matrix™ レポートでは、NICE Robotic Automation が「ビジョンと機能性」並びに「市場への影響度」の分野で高い得点を獲得し、業界のリーダーかつスターパフォーマーとして位置付けられました。NICE のコネクティビティとシェイプアナリシス技術の印象的な特徴が、主要な強みの一つです。